熊本大学
Kumamoto University

令和８年 11 月 10 日

報道機関各位

熊 本 大 学

「東亜フォーラム：統一地方選挙後の台湾海峡情勢と日台協力の展望」（熊本大学大学院人文社会科学研究部×一般財団法人霞山会）の開催について

熊本大学大学院人文社会科学研究部は、一般財団法人霞山会との共催により、2026 年 12 月 5 日（土）、熊本市内において「霞山会 東亜フォーラム 特別編：統一地方選挙後の台湾海峡情勢と日台協力の展望」を開催します。

近年、半導体産業をはじめ、経済、観光、教育、文化など幅広い分野で熊本と台湾の交流が進展しています。一方、中国による台湾への圧力が強まるなか、台湾海峡の平和と安定は、日本の安全保障や経済、さらには熊本の地域社会とも深く関わる課題となっています。

こうしたなか、台湾では 11 月 28 日に台湾の「九合一選挙」が実施されます。これは、9 種類の地方公職（直轄市長・議員から村長・里長まで）の選挙で、本フォーラムでは「台湾の統一地方選挙」と訳出しました。今回の選挙は、現・賴清德政権の政権運営に対する「中間評価」であると同時に、2028 年総統選挙に向けた「前哨戦」とも位置づけられており、その結果が台湾の政治情勢や経済政策、中国との関係に及ぼす影響が注目されます。

本フォーラムでは、選挙結果を踏まえ、中国・台湾の政治情勢、両岸関係、台湾経済と日台経済関係について、各分野の専門家が解説します。さらに、パネルディスカッションを通じて、台湾海峡情勢が日本や熊本に及ぼす影響と、今後の日台協力の可能性について多角的に議論します。本学大学院人文社会科学研究部からは、伊藤正彦部長（開会挨拶）、渡辺直土准教授、山口智哉准教授（ともにパネルディスカッション）が登壇いたします。

一般市民の皆様にも広く参加を呼びかけるとともに、報道機関の皆様におかれましても、ぜひ取材・報道をご検討くださいますようお願いいたします。

なお、本フォーラムの詳細につきましては、別紙チラシよりご確認ください。

記

【日　　時】　令和８年１２月５日（土）１４：００～１７：００
【場　　所】　ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ「ストリングス」
【共　　催】　一般財団法人霞山会、熊本大学大学院人文社会科学研究部

【（参考）一般財団法人霞山会について】

一般財団法人霞山会は、1898 年（明治 31 年）に近衛篤麿を会長として設立された東亜同文会の理念と事業を継承し、1948 年に設立された団体です。日本とアジア諸国・地域、とりわけ中国や台湾との学術・文化交流を通じて、相互理解と友好関係を促進し、アジアおよび世界の平和と安定に貢献することを目的としています。

主な事業は、学術・教育交流、調査研究、出版、講演会・シンポジウムの開催、人材育成など多岐にわたり、学術・教育交流では、日本と中国・台湾などの研究者や留学生の相互交流を支援するとともに、若手研究者への奨学金支給や教育交流事業を展開しています。

また、中国・アジアの政治、経済、社会、文化に関する調査研究を推進し、月刊誌『東亜』や学術書籍などを刊行や、専門家を招いた「東亜フォーラム」、大学・研究機関との共催シンポジウムを通じて、東アジアの諸課題について幅広く情報発信を行っています。

このほか、語学教育機関「東亜学院」の運営や、文化・教育・研究活動の拠点となる「霞山会館」の運営などを通じ、長年にわたり東アジアの学術交流と人材育成に貢献してきました。

【お問い合わせ・取材申込先】
熊本大学大学院人文社会科学研究部
担当：山口智哉
E-mail： t-yamaguchi@kumamoto-u.ac.jp

霞山会 東亜フォーラム **特別編**

統一地方選挙後の台湾海峡情勢と日台協力の展望



いま、熊本と台湾の距離はぐっと近くなっています。半導体産業をはじめ、観光や教育、文化など、さまざまな分野で交流が広がり、台湾は私たちにとって身近な存在になりました。

一方、台湾を不可分の領土と見なす中国が圧力を強めています。熊本市の健軍駐屯地には長射程ミサイルが配備され、台湾有事などを想定して沖縄の離島住民を九州などで受け入れる計画も進められています。その意味でも、台湾情勢は私たちの生活に関わります。

11月末には台湾で統一地方選挙が行われます。その結果も、今後の台湾政治や中台の関係に影響を及ぼすことが考えられます。

今回のフォーラムでは、専門家とともに台湾と中国の「いま」をわかりやすく読み解きます。熊本の未来に関わる平和や安全、経済の問題、そして日台交流の可能性について、一緒に考えてみませんか。

日　時
2026年12月5日(土)
14:00～17:00

会　場
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ「ストリングス」
熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地

共　催
一般財団法人霞山会
熊本大学大学院人文社会科学研究部

参加費
参加無料・事前登録制

事前登録はこちらからお願いします

お問合せ
一般財団法人霞山会文化事業部
東京都港区赤坂二丁目17番47号
koudoku@kazankai.org

14:00 開会挨拶
阿部　純一　霞山会理事長
伊藤　正彦　熊本大学大学院人文社会科学研究部部長

14:10 講演1
高原　明生　東京女子大学特別客員教授・東京大学名誉教授
「党大会を来年に控えた習近平政権の現状と台湾政策」

14:35 講演2
五十嵐隆幸　目白大学外国語学部准教授
「統一地方選挙後の頼清徳政権と両岸関係」

15:00 講演3
伊藤　信悟　国際経済研究所主席研究員
「台湾経済の現況と日台経済関係」

15:25 休憩

15:35 パネルディスカッション
飯嶋　佑美　熊本県立大学総合管理学部講師
五十嵐隆幸　目白大学外国語学部准教授
伊藤　信悟　国際経済研究所主席研究員
高原　明生　東京女子大学特別客員教授・東京大学名誉教授
山口　智哉　熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授
渡辺　直土　熊本大学大学院人文社会科学研究部准教授

16:25 全体討論

16:55 閉会挨拶
六鹿　茂夫　霞山会常任理事